

**毛利栄子**議員の6月県議会での質問と答弁の要旨を紹介します。一般質問、答弁の全文はホームページの**議会の様子**から、質問の動画は右のQRコードよりご覧いただけます。



## ＊ ＊ 保育問題について ＊ ＊

**毛利** 待機児童を生む原因に保育士不足がある。2023年2月議会の山口議員の質問に対し、「少子化・人口減少対策戦略検討会議」において保育士の処遇改善に資する施策についても議論いただきたいと答弁されたが、どのような議論、検討がされているのか。

**こども若者局長** 会計年度任用職員から任期付職員への移行推進など、処遇改善に取り組むとともに市町村間での共同採用などの取組に対し県が支援することとなっている。保育士の給与水準の改善については国に対し公定価格の見直しを要望してきたが、さらに要望していく。

**毛利** 公立保育園の保育士は6～7割が非正規。会計年度から任期付きに変えるだけでは待遇改善できない。専門職としての保育士の確保をはかってほしい。

## ＊ ＊ 航空機産業の現状と今後の展開について ＊ ＊

**毛利** 政府は航空機産業を「サプライチェーンは民間航空機のみならず防衛産業においても重要な役割を担っており安全保障上も重要」と位置付けている。県が航空機産業の振興に取り組むことで、武器製造の一翼を担うことにならないか危惧されるが見解を伺う。

**知事** 国では防衛装備品の海外移転を禁止する場合を明確化しているため、一定の歯止めがかかっている状況。県としては、引き続き航空機産業の振興に取り組んでいく。

## ＊ ＊ 県営住宅について ＊ ＊

**毛利** 県営住宅は老朽化が進み空き家が増え、夏は草に覆われたり冬は雪が積もったまま放置され、環境面でも景観面でも維持管理体制に支障をきたしているが、県の対応は。

**建設部長** 原則は自治会を中心に行ってもらっている。県も管理はしているが行き届いてはいないので、他県の状況も把握の上、改善に向け検討していく。

**毛利** 目的外使用を拡大し、空き家の活用で学生や若者など単身者の入居も可能にし、高齢者の見守りなどもできるようにすれば、コミュニティの維持や環境整備、さらに安心して暮らせる住宅になることも可能ではないか。

**建設部長** 松本市並柳団地の空き住戸の一部を入居要件に関わらず活用し、多様な世代がつながり支え合う活動拠点整備などに取組んでおり、今後はこうした成果や課題を検証し他の県営住宅にも横展開できるようにしていく。

### ＊質問を終えて＊

保育士不足が深刻ななかで、引き続き処遇の改善を求め、専門職として誇りをもって働けるようとり上げていきます。

